

株式会社エンプラス

(証券コード:6961)



よりよき明日を目指して

2026年3月期 (第65期) 報告書
2025年4月1日から2026年3月31日まで

enplas

enplas

株式会社エンプラス

Contents

01. 企業理念

02. 株主の皆様へ

04. 連結業績の推移

05. 事業別概況

06. エンプラスのESG

07. 特集 中期経営計画 -2nd roll-

09. 会社概要/株式情報/株主メモ

10. グローバルネットワーク 国内ネットワーク

巻末. グローバルネットワーク 海外ネットワーク

企業理念



使命

独創的アイデアを総合技術で価値ある製品に変え、より良い未来を支えます

経営姿勢

強靱な経営基盤をもとに、創造と挑戦を繰り返し、自ら変革し続けます

行動指針

信頼こそ全ての基本

- ・謙虚な姿勢と感謝の心を大切にします
- ・公明正大に行動します
- ・新たな価値の創造に挑戦します

株主の皆様へ

私たちはソリューションプロバイダーとして、より良い未来の実現に向け、さまざまな企業活動に取り組んでおります。



代表取締役社長 横田大輔

Q 第65期の経営実績、 今後の方針についてお話しください。

当連結会計年度の売上高は42,540百万円(前期比11.7%増)となり、営業利益は6,164百万円(前期比16.6%増)、経常利益は6,482百万円(前期比19.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は5,233百万円(前期比32.7%増)となりました。

各セグメントの業績につきましては5ページに掲載しております。

当社を取り巻く環境は、米国の通商政策の影響、不安定な国際情勢の長期化に伴う資源価格への影響、部品調達環境への影響、為替変動など、外部環境の不確実性が高まっており、先行き不透明な状況が続いております。このような状況の中、当社グループは、AIの社会実装に向けた、より良い明日を創ることに貢献するために中期経営計画を策定し、「ソリューションプロバイダーとして

顧客価値を創出する」を中期経営方針として掲げ、事業領域の拡大と、ニッチトップ戦略による付加価値の向上に取り組んでおります。当社グループの事業活動を通じて、あらゆる産業が抱えているさまざまな課題の解決に繋がるソリューションを提供することで、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めてまいります。また、不連続な変化が続く時代において、持続的な成長を実現するために、成長領域に経営資源を集中し、当社グループの重要な経営基盤である人材への投資を積極的に進めてまいります。

Q 中期経営計画について お話しください。

当社は中期経営計画を固定することなく、毎年、戦略の見直しも含めて三カ年の見通しを更新するロール型の中期経営計画を採用しております。当社の企業体質や

株主の皆様へ

新規性を踏まえると、変化への即応が極めて重要であるため、世の中の不連続な変化はリスクではなく、前提条件であると考え、2026年4月30日に中期経営計画 -2nd roll- を公表しました。

2025年4月30日に公表した長期ビジョン「Key Component Company for Essential Market」につきましては、中長期で進むと考えていたAIの社会実装が想定を上回るスピードで加速していることを踏まえ、その効果を最大化するためのソリューションプロバイダーを目指す方針へと舵を切ることいたしました。これに伴い、Essential市場や重要なプラスチック部品に限定することなく、対象領域を広く捉えて伸ばしていく戦略へ転換する観点から、長期ビジョンを「Solution Provider to Maximize AI Performance」に変更いたしました。また、長期ビジョンを踏まえて「ソリューションプロバイダーとして顧客価値を創出する」を中期経営方針として掲げております。

中期経営計画 -2nd roll- につきましては7~8ページに掲載しております。

Q 株主還元についてお願いします。

当社は、健全・堅実な経営により強固な財務体質を堅持するとともに、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針としております。

上記の基本方針と当期の業績等を総合的に勘案し、

中間配当については1株当たり45円、期末配当については1株当たり45円とし、年間90円といたします。

Q

株主の皆様へ一言お願いします。

当社は、創業以来、素材開発、プロセスエンジニアリング開発、評価技術開発を推進し、それまで不可能と考えられていたものを製品化、量産化することで、世界中のお客様と共に、豊かな社会の発展に貢献してまいりました。

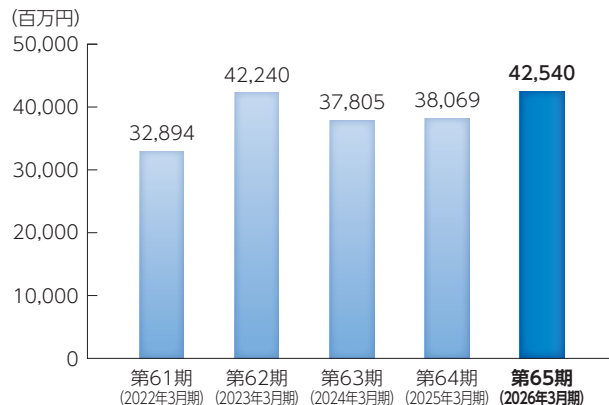
金属ギヤの代替から始まった当社の事業も、今では、半導体、ライフサイエンス、モビリティ、高速光通信などの幅広い分野に展開し、これまでに培った技術基盤をもとに、お客様の価値向上につながるソリューションを提供しております。

不連続な変化が当たり前におこる現在の世の中においても、変化に即応できるスピード感を持ち、当社の技術力をさらに磨きながら、幅広い産業の未来課題の解決に挑戦してまいります。

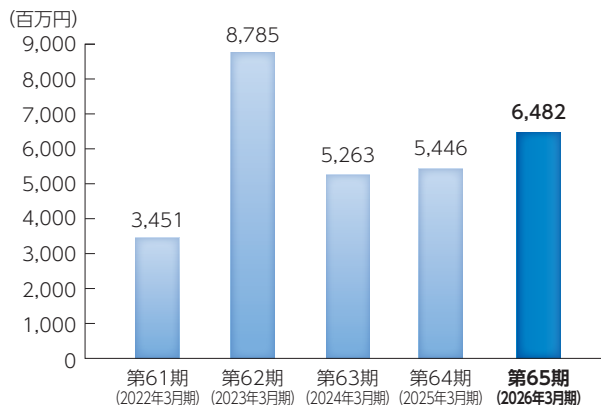
今後とも、株主の皆様にはより一層のご支援とご鞭撻を賜ります様、よろしく願い申し上げます。

連結業績の推移

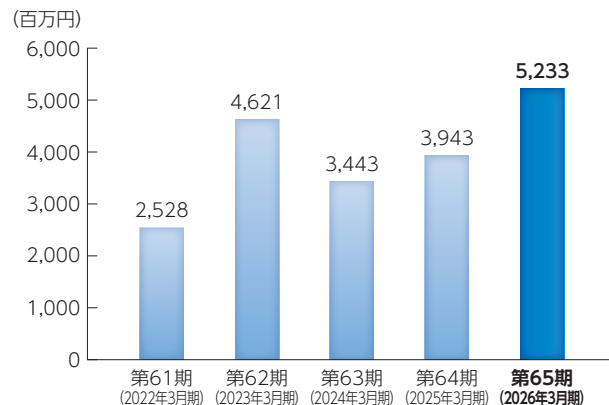
■ 連結売上高



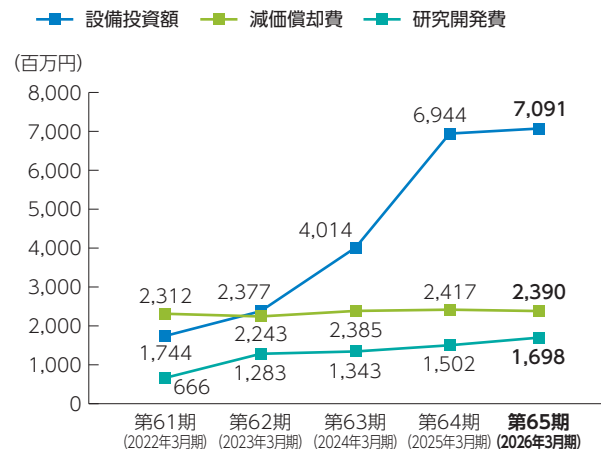
■ 連結経常利益



■ 親会社株主に帰属する連結当期純利益



■ 設備投資額／減価償却費／研究開発費

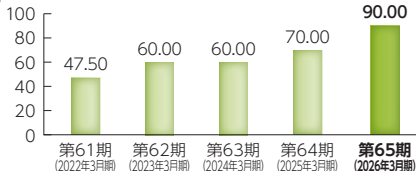


株主還元について

**1株当たり
配当金90.00円**

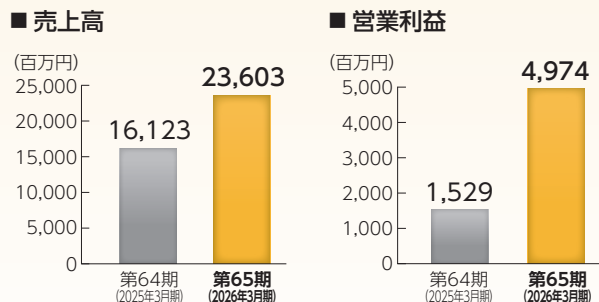
当社では、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針とし、また、安定配当の考え方も取り入れ、今期以降の業績等を総合的に勘案し、中間配当を含む年間配当を90.00円とさせていただきます。

■ 配当金 (円)



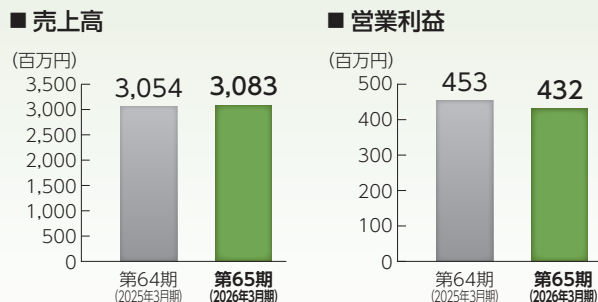
事業別概況

Semiconductor事業



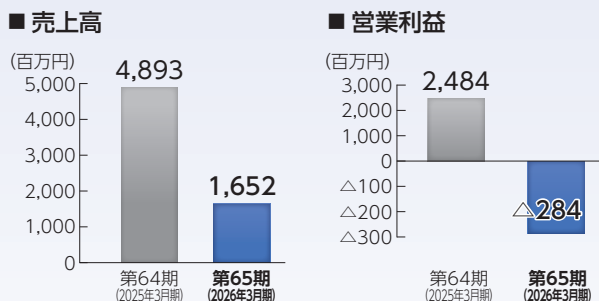
各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、サーバー用途、自動車用途およびモバイル用途の需要が大幅に増加し、売上高は好調に推移しました。

Life Science事業



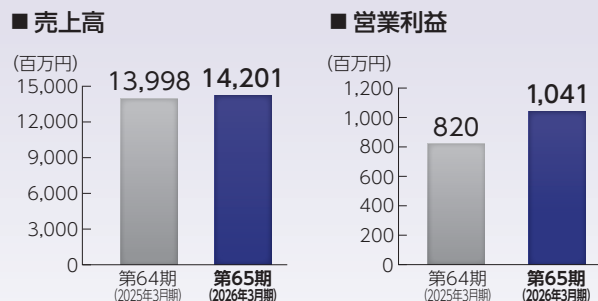
遺伝子検査用製品は、米国のライフサイエンス市場の低迷による顧客の在庫調整の影響で低調に推移したものの、一部量産品の生産終了に伴う一時的な販売増加により売上高は増加しました。

Digital Communication事業



光通信関連の光学デバイスは、AI用途等のハイエンド領域における次世代製品の量産は開始したものの、既存製品の大幅減少や新規製品の立ち上げ遅れにより、売上高は低調に推移しました。

Energy Saving Solution事業



自動車用部品は、自動車市場が好調に推移する中で当社が注力する低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡販により売上高は堅調に推移しました。一方、プリンター用部品は需要の反動減により売上高は低調に推移しました。

エンプラスのESG

Environment (環境)

環境方針

エンプラスは、エンジニアリングプラスチック及びその複合材による、高精度・高機能プラスチック精密機構部品・製品の開発、製造、販売に関わるあらゆる面で、地球環境の保全を企業の果たすべき重要な課題として捉え、その保護活動に積極的に取り組みます。

1. 環境目標を設定し、それを達成するために全社的な環境管理システムを構築し、継続的な改善向上を図ります。
2. 業務の合理化や改善等を通じ、環境負荷の低減・省エネルギー（電力使用量等削減／CO₂削減）を推進します。
3. 廃プラスチックの削減と再資源化を推進します。
4. サプライヤーとの協働により調達品の環境負荷低減に努めます。
5. 環境規制や環境協定等を順守します。
6. 企業活動から汚染を排出しないようその予防に努めます。
7. 社会の一員として、地域の環境保護や維持に貢献します。

〈適用範囲〉

組織の単位・物理的境界	区分	適用範囲
エンプラス株式会社	グローバル本社	自己宣言
	本社	自己宣言
	鹿沼工場	審査登録
国内グループ会社	株式会社エンプラス研究所	自己宣言
	株式会社エンプラス半導体機器	自己宣言
	QMS株式会社	自己宣言

Social (社会)

エンプラス品質方針

お客様に感謝されるより良い品質の製品とサービスを提供します。

1. エンジニアリングプラスチックを基盤とした総合技術による確かな品質で、世界市場のニーズに応え、社会の発展に貢献します。
2. 法令、規制、お客様の要求事項を遵守し、お客様から信頼を得られるよう行動します。
3. 品質マネジメントシステムの継続的な改善により、あらゆる変化に対応できる品質基盤を堅持します。

2020年6月10日改定

Governance (ガバナンス)

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社の経営方針・企業精神・企業倫理を具現化したものが企業理念であり、社会の発展に寄与すべき企業使命を明確にするとともに当社のコーポレート・ガバナンスの基本原則となっております。その企業理念に基づき、持続的な企業価値の向上を実現する為に、「エンプラス コーポレート・ガバナンス ポリシー」を制定し、コーポレート・ガバナンスの継続的な充実に取り組んでおります。

■ AIの社会実装へのロードマップ

AIの社会実装が想定を上回るスピードで進展するなか、当社を取り巻く事業機会は一段と拡大していきと予想しております。このような環境変化を踏まえ、毎年見直しを行うロール型中期経営計画のもと、長期ビジョンを見直し、2026年4月30日に中期経営計画 -2nd roll-を公表しました。



2025年4月時点ではAIの社会実装は段階的に進むと考えており、2026年からヒト・企業・社会への採用・適用が進み、2030年に生産性向上が顕在化すると想定しておりました。しかし、現在は大幅な生産性向上まで、全てが加速し、前倒しで始まっております。

このような環境の中で、データトラフィック量は着実に増加しており、AIデータセンターのあり方は、従来の中央集中型から、エッジ・宇宙へと分散していくと考えております。

当社は市場を限定することなく、メカニクス、エレクトロニクス、オプティクス、バイオロジーなどの複合技術を事業機会に繋げてまいります。

■ 長期ビジョン

Solution Provider to Maximize AI Performance

目的 我々はAIの社会実装に向けた、より良い明日を創ることに貢献する

2025年4月30日に公表した長期ビジョン「Key Component Company for Essential Market」は、AIの社会実装が想定以上のスピードで進展していることなど、事業環境の変化を踏まえて見直しました。当社は今後、部品供給にとどまらず、AI活用の価値を最大化するソリューションプロバイダーを目指すとともに、事業領域をより広く捉えることで成長を加速してまいります。

■ 中期経営方針(2027年3月期-2029年3月期)

ソリューションプロバイダーとして 顧客価値を創出する

下記の重点推進事項を設定し、ソリューションプロバイダーとして顧客価値を創出してまいります。

- ① Semiconductor事業の成長/事業ポートフォリオの分散
- ② イノベーションセンターによる顧客価値の創出
- ③ 各事業の成長と事業領域の拡大
- ④ 成長分野への投資と、投資回収の徹底

■ 2029年3月期 財務目標

売上高
550億円

営業利益
100億円

ROE
10.0%以上

会社概要 / 株式情報 / 株主メモ

(2026年3月31日現在)

会社概要

商号 株式会社エンプラス
所在地 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
設立 1962年2月21日
資本金 80億8,045万円
従業員数 1,371名(連結)

(2026年6月26日現在)

取締役

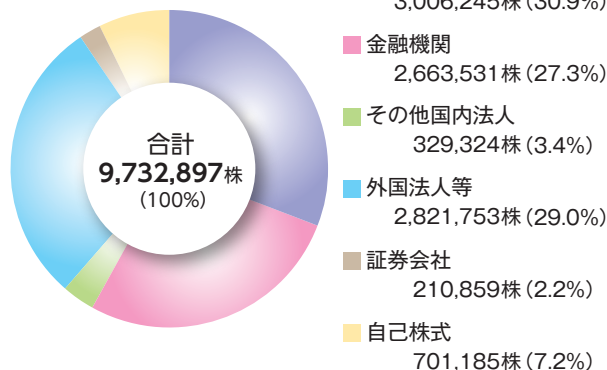
代表取締役社長	横田 大輔
取締役兼専務経営執行役員	椎名 聡
取締役兼経営執行役員	藤田 慈也
社外取締役	赤塚 孝江
社外取締役(監査等委員)	井植 敏雅
社外取締役(監査等委員)	久田 眞佐男
社外取締役(監査等委員)	天羽 稔
取締役(監査等委員)	沓沢 茂雄

(2026年3月31日現在)

株式情報

発行可能株式総数 62,400,000株
発行済株式総数 9,732,897株
株主数 2,821名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部(お問い合わせ) ☎0120-288-324
郵便物送付先、連絡先
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
公告方法 電子公告 (<https://www.enplas.co.jp/>)
ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。
貸借対照表、損益計算書は、決算公告に代えてEDINET (<https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/>)にて開示しております。
上場金融商品取引所 東京証券取引所

グローバルネットワーク

■ 国内ネットワーク

グローバル本社

東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング9F

本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号



東京都

・グローバル本社

京都府

・京都共創センター

・QMS 京都オフィス

鹿沼工場

埼玉県

・本社

・株式会社エンプラス研究所

・QMS株式会社

・株式会社エンプラス半導体機器

名古屋営業所

QMS 四日市営業所

エンプラス半導体機器 九州営業所



本社



鹿沼工場



株式会社エンプラス半導体機器



QMS株式会社



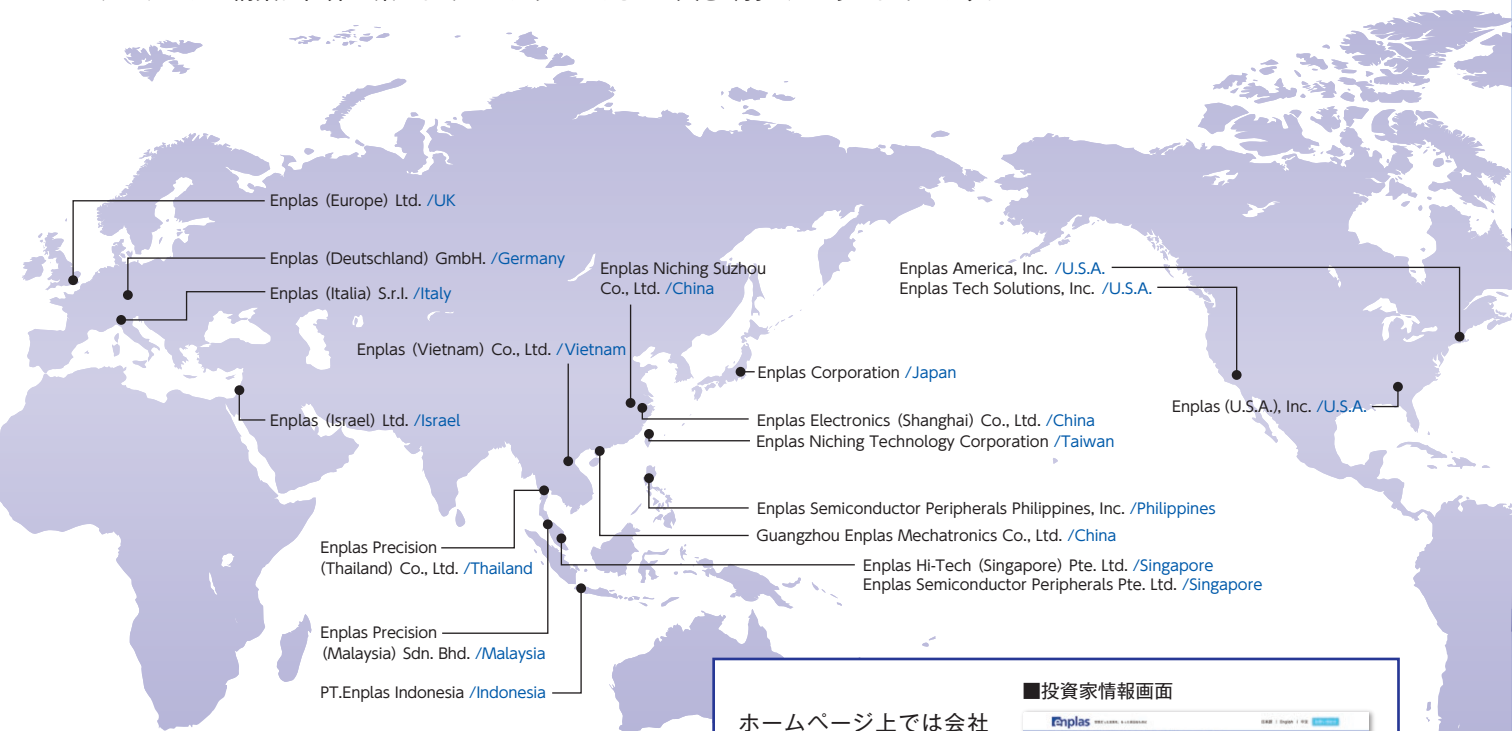
株式会社エンプラス研究所

グローバルネットワーク

■ 海外ネットワーク

技術の絆。信頼の絆。活躍の舞台はグローバルです。

アジア、アメリカ、ヨーロッパにある世界拠点を結ぶグローバルネットワークによって24時間稼働し続ける「エンプラス」グループ。こうしたグローバルネットワークを通じて、企画・開発段階から、各産業界のトップメーカーと技術に裏打ちされた信頼のパートナーシップを構築。世界企業としてエンプラスは、さらに大きく羽ばたこうとしています。



株式会社 エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号

Tel : 048-253-3131 (代表) Fax : 048-255-1688

<https://www.enplas.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



ホームページ上では会社概要、財務情報をはじめ業務内容やプレスリリースなど最新の情報を幅広くお知らせしています。ぜひご覧ください。

エンプラス IR

検索

■ 投資家情報画面

